

落語会の次は、卓球ラリーー 要介護4から3への 驚異的な回復ぶり 奇跡の復活は続く。

2度の病に倒れ、一度は生死を彷徨いながらも、家族の懸命な介護により、退院時は1だった要介護度が3になるという驚異的な回復を見せている林家こん平師匠。前号では、盛況の部会電話会議でその復活ぶりを紹介した。さらにその後、こん平師匠が、スポーツの祭典にゲストとして招かれてトークショーと卓球のエキシビジョンマッチを披露するといよいよどうぞ水試も参加した。



ほど打ち返すこん平師匠の表情は真剣そのもの。その回復ぶりにはチャンピオンの伊藤さんもビックリ。

林家こん平さんがゲストとして招かれたのは、板橋区立板橋第二小学校で開催された「ユニバーサルスポーツ大会」。ユニバーサルスポーツというのは、子供からお年寄り、また障がいを持った方たちも全員が同じルールで一緒に楽しむことが出来るスポーツのことである。

こん平さんは芸能界でも卓球の名手として知られ、闘病前は自らもチームを持つほどだったというが、言うまでもなく卓球は激しいスポーツ。果たして本当に試合に臨むことが出来るのだろうか？ そんな不安をよそに、卓球ウェア姿のこん平と

（上）左から、こん平師匠の父の佐賀孝さん、中野アツシ先生の伊藤智恵さん、フリーアナウンサーの福澤明さん。
（下）ブルーのウェアで登場したこん平師匠は観衆を驚かすほどの喜ばし、観衆の拍手でエキシビジョンがスタートした。



落語家
林家こん平師匠



「ちやらへん体操」の動きをイラストで説明したパンフレットもある。

ちやらへん体操

（読んで覚える1・2・3） 発行者：伊藤智恵 編集：佐賀孝 監修：中野アツシ先生 出演：林家こん平さん、伊藤智恵さん

んが事いすで元気に登場すると、会場から大きな拍手が起る。

この日、トークショーのゲストは、こん平さんのほか1969年の世界卓球選手権で男子シングルスと男子団体戦で優勝した卓球世界チャンピオンの伊藤智恵さんと、フリーアナウンサーで趣味が卓球という福澤明さんの3人。

伊藤さんが当時のエピソードを披露。さらに福澤さんが「たじろば、申いすの乗っている人と卓球で対戦する場合はこちらがパイプ椅子を使用すれば同じルールでできる。それがユニバーサルスポーツの素晴らしいところ。スポーツはやればやるほど、明るく元気に強くなれるし、健康にもなり、健康になれば病院に行かなくていいので結果、国が抱える医療費削減も少なくなるというわけです」と話す会場が拍手に包まれる。

そして、いよいよ真打登場。車いすからゆつくりと立ち上がった、こん平さんが「みなさん、これからほとんど元気にいきましよう！ よろしくおねがいしましう！」

声はかすけているが元気はいっぱい。そんな父の姿に目を細める愛娘の喉さんが言葉が続ける。

「わたくしの父、こん平がリハビリで要介護度が4から3へと回復しました。数字が下がったからといって、これは学校の成績じゃありません（笑）。長くなったという意味です。その際行なったリハビリの動き、そして、卓球で使うラケットの素振りを取り入れたのがこの体操です。こん平の代名詞である「1・2・3ちやらへん」から「ちやらへん体操」と名付けました。お子様からお年寄りまで、足の不自由な方も椅子に座ったままで行なうことができます。ぜひ覚えて日ごろの運動に活用していただけたらと思います」

この日、インストラクターを務めるのは健康増進士一般指導員の田中佳太さんだ。

（笑って過せば 幸せに 悩んでいるより 進もうよ！）

ちやらへん体操でウォーミングアップしたこん平さんが、いよいよ卓球のエキシビジョンマッチに出場。不自由な右手でラケットを持ちながらも、軽快なスマッシュを披露。10回のラリーにも成功して、最後を「1・2・3ちやらへん」で占めくくり、この日のエキシビジョンマッチは幕を下ろしたのだった。

●この部会電話会議は、2014年1月31日に開催。お問合せ：電話03-3915-5746（DM：プランニング）まで。